巨摩高だより

KOMA Style

11月号 VOL.80

News and Magazine of KOMA High School

楽しみながら学ぶ、それが『巨摩スタイル』。



自然科学部 全国総文祭 文化庁長官賞 受賞

巨摩高校（ここ）ならきっと夢中になれる宝物（もの）と出会える！


白嶺祭



ホッケー部

特集…Special edition

- 全国に挑んだ精鋭たち
  - 自然科学部 全国総文祭文化庁長官賞受賞
  - ホッケー部 インターハイおよびU18代表続報 ほか
- 第72回白嶺祭／新生徒会発足／校外学習の報告
- ホッケーアジア大会で
  - OG中込紅莉選手が銅メダル獲得
- 同窓会およびナツボラからの報告
- 教頭先生より

同窓会奨学金交付式&後援費寄贈

7月14日(火)に上田仁同窓会長と大久保紀夫副会長が校長室にお見えになり、在校生の部活動と学習活動を支援したいという趣旨で、本校に100万円を寄贈してくださいました。有効に活用させていただきたいと思います。また同日には「同窓会奨学金交付式」も行われ、奨学生に選ばれた６名に上田仁会長から奨学金が渡されました。励ましの言葉を頂いた６名は高校生活をさらに充実させるべく決意を新たにしたところです。





ナツボラ&フードドライブの報告





8月3日(月)、「フードバンクこども支援プロジェクト」を支える高校生ボランティア「ナツボラ」のオープニングイベントが開催され、ユネスコボランティア委員３年の西野頼斗さんがボランティア宣言を行いました。当日は、山梨クィーンビーズ等の選手も加わり、フードドライブで集まった食品の箱詰め作業を行いました。三者懇談の折に保護者の皆様から寄せられた食料品238kgは、8月18日(火)に生徒会役員がフードバンク山梨に届けて参りました。御協力ありがとうございました。

kyoutou sensei kara
Hi・To・Ko・To（ひとこと）

つながりの中で育まれる未来

教頭 小澤 幸生

今年、私は米作りに本格デビューした。種もみから苗を育て、田を耕し、代掻きを経て田植えに至るまで、家族の力を借りながら作業を進めてきた。しかし経験が浅いため、「今は何をする時期なのか」「どれくらいの肥料や除草剤が必要なのか」といった感覚が十分に身に付いておらず、思うように進まないことも多い。そのたびに近所の先輩方や親戚、経験豊富な先生方から助言をいただきながら、一つ一つの作業に取り組んでいる。こうした経験を通して改めて感じたのは、人とのつながりの大切さである。

さて、本校では今年５月に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を立ち上げた。この会議をはじめ、保護者の皆様や南アルプス市役所、警察署、消防署、地域の方々と、交通や産業、人口、観光、防災、自然環境、教育など地域の未来について語り合う機会をいただいている。そのたびに地域の高いポテンシャルと可能性を実感するとともに、その未来を担う若者たちへの大きな期待を感じている。

一方、本校の「総合的な探究の時間」では、企業探究やグループによる探究活動に取り組んでいる。生徒たちは高校生ならではの視点で地域資源や課題を見つめ、情報を収集・分析しながら、地域や社会をよりよくするための提案や発信につなげている。その過程では、企業や地域の方々との関わり方に悩み、立ち止まることもあるが、そうした試行錯誤こそが成長につながる貴重な経験であり、将来を生き抜く力になると信じている。今後も探究活動が地域や企業との協働を深め、新たな価値を生み出す「共創」へ発展することを願っている。

この文章が皆様の目に触れる頃には、我が家の稲も無事に実り、収穫の日を迎えているだろうか。米作りも探究活動も、多くの方々の支えと一歩一歩の積み重ねによって成り立っている。そのことへの感謝を胸に、これからも地域とともに歩む学校づくりに力を尽くしていきたい。



No.048 巨摩高百景

「何気ない日常の尊さ」



音楽室のピアノの周りに、いつの間にかみんなが集まって話している。くだらないことで笑ったり、たわいもない話をしたり、そんな時間がすごく楽しい。特別な出来事ではないけれど、こうしてみんなで過ごす何気ない毎日が、私にとっては大切な日常。これからもこの時間をみんなと一緒に過ごしていきたい。

写真部 2年 芦澤 茜音
（櫛形中学校出身）

巨摩高だより KOMA Style VOL.80

●発　行…山梨県立巨摩高等学校
〒400－0306 山梨県南アルプス市小笠原1500－2
TEL.055－282－1163 FAX.055－282－1104
●発 行 日…令和8年11月2日
●編　集…山梨県立巨摩高等学校 総務・広報部
●撮影協力…山梨県立巨摩高等学校 写真部

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校 検索

URL…https://www.ko.kai.ed.jp/
E-mail…info@ko.kai.ed.jp

CO2 ZERO PRINTING
この印刷物は再生可能電力（CO2排出ゼロ電力）で印刷されています。

6.18THU - 6.19FRI

第72回 白嶺祭

コマReal ～青春をシェアしよう～

今年も定時制模擬店とＰＴＡキッチンカーが出店！！
学年優勝は３－５・２－５・１－５が獲得









「最高の青春」



学園祭実行委員長
３年４組　安原　佑(八田中学校出身)

皆さん、白嶺祭お疲れ様でした。私は３年生で最後の白嶺祭ということもありますが、過去の学園祭と比較しても相当中身の濃い白嶺祭になったと思っています。クラスパフォーマンスやクラス企画、屋台では準備の段階から皆さん熱が入っていて、今までの白嶺祭で見なかったようなものもたくさんあった印象です。特に体育館のクラスパフォーマンスでは受付等で外にいる時でも、外まで聞こえるくらいの歓声に圧倒されました。いつもと違う学校生活の中で皆さんがそれぞれの役割につき、楽しんでいる姿を見て「みんなで頑張ってよかった！」と思いました。１・２年生の皆さん、来年の白嶺祭もよろしくお願いします。

新 生徒会　発足


飯久保(花)さん、石川さん、飯久保(理)さん

生徒会役員選挙の結果、新生徒会長に石川凜佳さん(甲西中学校出身)、新副会長に飯久保理紗さん(櫛形中学校出身)と飯久保花朋さん(富士川中学校出身)が選出されました。

新生徒会長　石川　凜佳(甲西中学校出身)

皆さん、こんにちは。新生徒会長の石川凜佳です。私は、今よりもっと多くの人が互いにコミュニケーションをとり、他者と関わり合える学校づくりを推進していきます。クラス、学年の思いを受け止め、集まった声を形にすることで、学校行事や勉強、部活動を通して生徒同士が繋がりを深め、至る所に笑顔が生まれる巨摩高校を目指します。皆さんと支え合い、充実した毎日を創出する生徒会にしていきますので、御協力をよろしくお願いします。

「協力と支え合い」



前生徒会長　飯島　友希乃(櫛形中学校出身)

皆さん、こんにちは。第77代・生徒会長の飯島友希乃です。全校の皆さん、先生方、一年間にわたる生徒会活動への御理解・御協力本当にありがとうございました。皆さんの温かい支えや協力があったからこそ、さまざまな活動に積極的に取り組み、充実した生徒会活動を行うことができたと感じています。

そして新生徒会役員の皆さん、就任おめでとうございます。生徒会活動には、全校生徒の皆さん、生徒会メンバーの協力と支え合いが欠かせません。全校生徒を大切にしながら、新たな活動に挑戦し、より良い巨摩高校を築いていってください。

第20回アジア競技大会 2026愛知名古屋女子ホッケー競技

本校ＯＧで女子ホッケー日本代表の中込紅莉選手が銅メダル獲得！

9/18～10/2に岐阜県川崎重工ホッケースタジアムで行われた大会に中込選手は日本代表として出場し、3位入賞して銅メダルを獲得しました。

なお、中込選手は予選のタイ戦で2得点を挙げ、POM(プレイヤーオブザマッチ)賞に輝いています。





自然科学部：全国総合文化祭 文化庁長官賞(全国2位)受賞

「楽しかった研究活動の締めくくり」

部長　3年5組　齊藤 有紀(櫛形中学校出身)



私たちは7月末に秋田県で行われた全国総合文化祭に参加してきました。準備の段階では、ポスターの制作や発表の言い回しを考えたりすることが大変でした。部員全員でやり遂げた研究を完璧に伝えられるよう、発表前日の夜まで内容を確認し、練習を重ねました。当日は他校の生徒や先生方、一般の方とそれぞれの研究内容について楽しくお話することができました。私たちの研究に対してアドバイスや良かった点を伝えて下さった方が多く、今後の研究の参考になりました。周囲のレベルが高く、受賞は難しいと考えていたので、文化庁長官賞に巨摩高校が呼ばれた際には驚いたとともに最高に嬉しかったです。




少林寺拳法(個人参加)：インターハイ出場

「自己の成長の糧として」

2年4組　梶原 真拡(櫛形中学校出身)

私は8月に和歌山県で行われたインターハイに出場しました。これまで少林寺拳法の県内大会や全国大会などには参加したことがありましたが、インターハイは今回が初めての参加でした。男女問わず、小学生からシニアまで様々な年代が集まるいつもの大会とは違い、全国から集まった同年代のみの大会は独特の雰囲気があり、その中で演武を披露するのは大変緊張しました。実際、納得のいく結果は出せませんでしたが、インターハイ出場という貴重な体験と、大会で見た他の選手の素晴らしい演武の記憶を糧にこれからも稽古を励みたいです。



～全国に挑んだ精鋭たち～



フェンシング(個人参加)：2年連続インターハイ出場

「本気で打ち込んだ夏」

2年5組　鮫島 由惟(南アルプス子どもの村中学校出身)

今年のインターハイは、2か月ほど練習に行けない期間があったこともあり、十分な準備期間を取れず、1か月前から練習を詰め込みました。剥けた皮が治る前にまた皮が剥け、指は腱鞘炎になりました。ですが、いくら練習を詰め込んだとはいえ、十分な準備ができたとは言えず、全力でベストを尽くすことを目標に設定しました。結果的にはプレッシャーがかかりすぎることなく、自然体で大会に挑むことができました。練習量の差を埋めることはできませんでしたが、この1か月間は、初めて本気で打ち込んだと言える時間でした。



ホッケー部：インターハイ出場

「さらなる成長と高みを目指して」

部長　3年2組　小野 結菜(白根御勅使中学校出身)

私たちホッケー部は、インターハイという全国の舞台に立ち、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮すべく、仲間と力を合わせて戦いました。結果はベスト16となり、目標としていたところには届かず、悔しさの残る大会となりましたが、全国の強豪との対戦を通して、自分たちの実力を改めて知るとともに、さらなる成長につながる課題を見つけることができました。また、苦しい場面でも仲間と声を掛け合い、一つの目標に向かって最後まで戦い抜く中で、互いに支え合うことの大切さを学びました。この経験と悔しさを糧に、関東選抜では一人ひとりがさらに成長し、チームとしてより高みを目指したいと思います。




U18代表・桑本真衣選手(白根巨摩中学校出身)の 続報

桑本選手がオランダ遠征で得点。ワールドカップ出場中の本校ＯＧ・中込紅莉選手の応援にも参加。




校外学習の報告

Field Trip Report

エネルギー教育推進事業




8月21日(金)、1・2年理数創造コース80名が、日本科学未来館(東京都)の研修に参加しました。ドームシアターでの３Ｄ映像鑑賞を通して世界観を捉え直し、自らの問いを見つける機会として有意義な時間を過ごしました。

櫛形山研修



２年理系クラスの生物選択者が櫛形山の生態系について学び、それを活かして市内の小学生に櫛形山の水生生物を教える体験会です。8月２日(日)に市之瀬川下流域で水生生物を採取し、学校で顕微鏡の使い方等を指導しました。

TGG英語研修



7月27日(月)、1・2年生45名が、TOKYO GLOBAL GATEWAY(東京都立川市)の体験型英語学習プログラムに参加。英語コミュニケーション能力を向上させ、グローバルな視点で物事を考え表現する力を養いました。